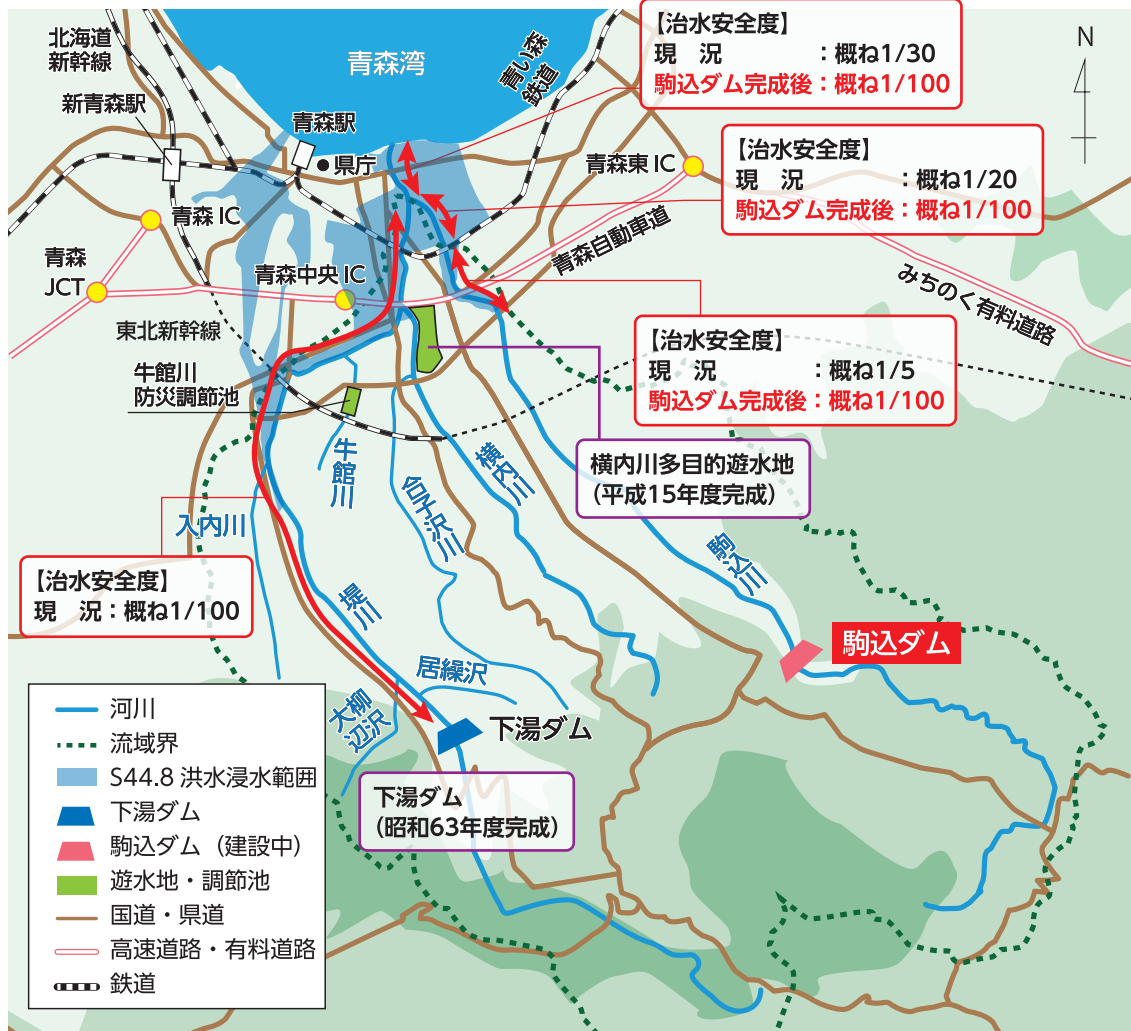


駒込ダムの治水効果

駒込川及び堤川河口付近は、堤川(駒込川合流点上流)に比べて治水安全度が低い状況ですが、駒込ダム完成後には、治水安全度が概ね1/100[※]まで向上します。



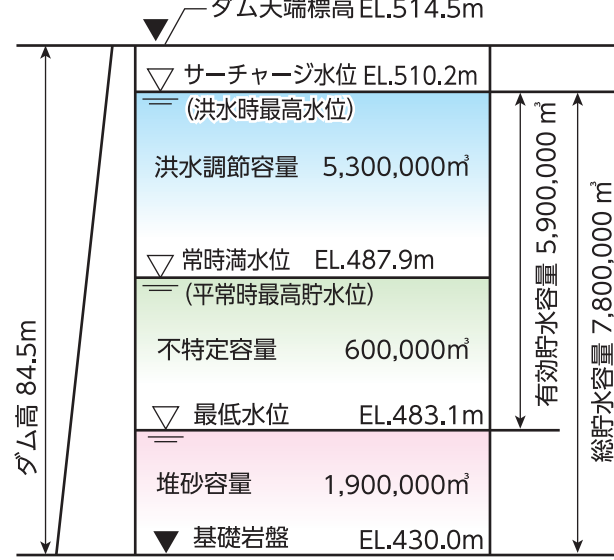
注)概ね100年に1回発生すると予想される規模の洪水に対して被害を防ぎます。

ダム計画

ダム計画諸元

ダ ム	
型 式	重力式コンクリートダム
堤 高	84.50m
堤 頂 長	290.10m
堤 頂 幅	4.00m
堤 体 積	317,000㎡
堤 頂 標 高	EL 514.50m
貯 水 池	
集 水 面 積	55.90km ²
湛 水 面 積	0.38km ²
総 貯 水 容 量	7,800,000㎡
有 効 貯 水 容 量	5,900,000㎡
堆 砂 容 量	1,900,000㎡
設 計 洪 水 位	EL 512.70m
サーチャージ水位	EL 510.20m
常 時 満 水 位	EL 487.90m
最 低 水 位	EL 483.10m

貯水池容量配分図



駒込ダムの工事実施計画とスケジュール



2022 年 9 月撮影

		年度	2019 (H31)	2020 (R 2)	2021 (R 3)	2022 (R 4)	2023 (R 5)	2024 (R 6)	2025 (R 7)	2026 (R 8)	2027 (R 9)	2028 (R 10)	2029 (R 11)	2030 (R 12)	2031 (R 13)
工 種 等		転 流 工 (仮 排 水 ト ン ネ ル)													
堤 体 工	基 礎 掘 削														
	造 成 ア バ ッ ト メ ン ト														
	堤 体 コ ン ク リ ー ト 打 設														
仮 設 備	基 礎 処 理														
	仮 設 工 事 用 道 路														
試 験 湛 水															
取 水 放 流 設 備															
管 理 設 備															

ダムの施工順序

1 工事用道路(現場内)

ダム堤体材料や資機材、掘削により発生した土を運ぶための工事用の道路を設置する工事。

2 転流工

ダムの工事区域を乾いた状態にするため、河川の流れを変更する工事。

3 仮設備

工事により発生した濁水を浄化処理する設備や、ダムのコンクリートを製造する設備などを設置する工事。

4 基礎掘削

表層の風化部を取り除き、基礎岩盤として十分な強度を有する良好な岩盤が得られるまで掘削する工事。

5 堤体工

ダム堤体を築造する工事。取水放流設備を設置する工事。

6 基礎処理工

基礎岩盤の割れ目からの漏水を防ぐため、セメントミルクを注入して止水処理する工事。

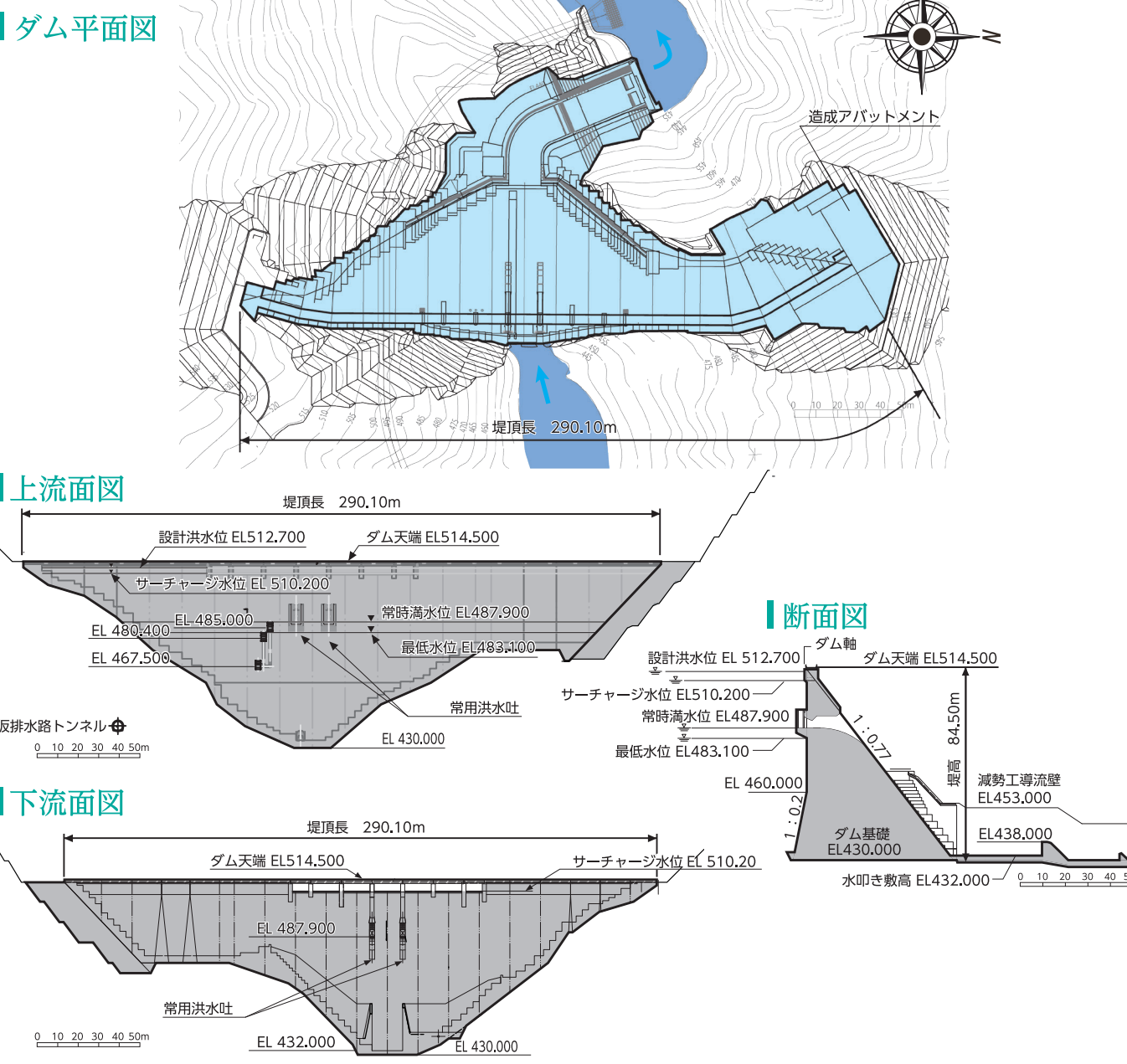
7 管理設備

管理上必要な雨量・水位観測所、地震観測装置やダム放流による警報設備等を設置する工事。

8 試験湛水

ダム本体及び貯水池の安全を確認するための試験。

ダム計画図



これまで実施した工事

駒込ダムでは、平成14年度から工事用道路の整備を進め、その後、平成31年(2019年)から駒込ダム本体建設工事に着手しました。現在、令和13年(2031年)の完成を目指して工事を進めています。

